



高松市議会

News

第 28 号

香川洋二

平成24年度一般会計 当初予算1468億8千万円

平成 24 年度一般会計当初予算は 1468 億 8 千万円。同議案等 89 議案が 3 月 23 日可決。主事業として、市役所西側旧市民会館跡地に（仮称）危機管理センターの基本計画策定、新市民病院建設等。

对中国観光戦略は個人客を

昨年 7 月から中国の「春秋航空」上海～高松間に週 2 往復の定期チャーター一便が就航。3 月 27 日からは週 3 往復に増便。



昨秋春秋航空就航による経済効果調査のため茨城空港と同県庁訪問。利用率は好調だが、経済効果は期待薄。観光客の買い物は東京秋葉原の L A O X（中国資本）がメイン。高松便団体客の買い物も大阪 L A O X。春秋旅行社の旅行費用は 4 泊 5 日平均 4～5 万円。本市の对中国観光戦略は富裕層を対象に瀬戸内海の美しさや芸術祭等に力点を置き、情報発信すべきと質問。行政視察の長崎市では「アジア戦略室」を設置。情報戦略では上海で独自ドメイン取得。「虎穴に入らずんば虎児を得ず」。同市は地理的・歴史的経緯から中国総領事館所在地であるが、長崎県とともに上海事務所設置などの人的関係をコアに对中国戦略を積極的に展開。

震災がれきの対応は？

東日本大震災の震災がれき受け入れについて質問。10 月地方自治経営学会・地方自治創造学会で岩手県遠野市他を訪問。



同市における後方支援・釜石市の被災状況、特に釜石市立鶴居住小学校・釜石東中学校（写真）での「釜石の奇跡」等現地視察。想像を絶するがれきの山。現場に立ち、国民全体でがれき処理に立ち向かうべきと感じた。答弁は国の安全確認や情報不足、地域の理解や市民の反対意見、西部クリーンセンター焼却炉長寿命化改修計画等で受け入れは厳しいとの認識。それなら官民協働の震災がれき以外の復興支援策の発想が大切では。

医師確保/香川大学医学部 本市による寄付講座提案

医師確保には研修環境整備の他医学部へのサポートも大切。地域医療を守るため香川大学医学部に市の寄付による講座開設を提案。市長は本市でも新たな医師確保策として香川大学医学部と協議し寄付講座の開設を検討すると前向きな答弁。

救急ステーション落成

3 月 28 日旧南消防署跡地に高松市南消防署東八ヶ救急ステーションが落成。救急車 1 台常駐。高齢化率の高い鶴尾校区にとって朗報。



さめきうどんの小麦生産地を視察 (西オーストラリア州)

2012年2月4日より海外行政視察で西オーストラリア州のパース、シンガポールを視察。項目は小麦産地の現状、パース市の公共交通機関トランスパース等。訪問した小麦産地はパース市より東約200kmのケレベリン地区。この地域の小麦がうどんに最適のASW(オーストラリア・スタンダード・ホワイト)。2軒の農家を訪問。1軒の農家の耕作面積は3,600ha(6km×6km)を2人で管



写真の赤線枠が3,600ha 高松旧市内網羅



理、収穫時だけ1名雇用。植え付けは雨季時に耕運と種・肥料播きを同時に行うフィーダーという機械を使用。植え付け後はお天気任せ。収穫時は5千万円のコンバイン(写真上)を使い24時間フル稼働。収穫小麦は集積場で品質検査後貨車輸送。フリーマントル港等から船積みされる。H20年全国で約714万tの各種麦類が輸入され、坂出港では21万5千tが荷揚げされている。

H23年12月議会一般質問項目

震災対策

香川県、高松市で検討されているハザードマップ等危機管理見直し状況

緊急事態対応のため危機管理専用ルーム設置と危機管理専門職の配属。全職員にヘルメット、職員であることが認識できるベスト等着衣支給、職員用非常食備蓄

現在のツイッター登録件数

緊急時における全職員の情報共有化の仕組みづくり

遠野市の事例を参考に高松空港を後方支援拠点として香川県、国土交通省、自衛隊等関係機関と連携をはかり、大規模災害を想定し、エアークラフトを活用した後方支援訓練を行う考え

震災がれきの受け入れ

教職員のヘルメット等の非常時装備品。また、IT化されたデータ等の持ち出、保管基準

教育現場における防災計画は地元各種団体との協働が大切。地元との協働は

子供たちが災害時にも生き抜くことができる体験プログラムを宿泊学習カリキュラムに。将来を担う小中学生が防災リーダーになるよう育成する考え。こうしたプログラムを実践しているボーイスカウト等の活動を児童生徒に周知すること

瀬戸内国際芸術祭 2013

屋島を改めて瀬戸内国際芸術祭 2013の会場として採用していただけるよう実行委員会に申し入れる考え

対中国観光行政

対中国の情報提供は中国のドメインを取得し、現地からの情報発信に切り替え、中国人観光客は個人客にターゲットを絞り、瀬戸内海を舞台にした瀬戸内国際芸術祭等、中国では味わえない情報を提供、差別化を図る考え

パブリックコメント

昨年1年間広聴したパブリックコメント件数と平均寄せられた件数

パブリックコメントが少ない理由と改善策

医師確保

地域医療を守るため医学部に寄付講座を設ける考え

教育問題

高松第一学園での小中一貫教育の現状と成果・改善すべき点。今後本市で小中一貫教育を導入する学校の予定

中1ギャップ解消の取り組み状況

小中学校の連携について今後どのように臨むのか教育長の決意

海外行政視察報告書は香川洋二ホームページにPDFで掲載中。